

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公開番号】特開2018-191686(P2018-191686A)

【公開日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-047

【出願番号】特願2017-95274(P2017-95274)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月20日(2020.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段と、

前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段と、

前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段と、

演出音の出力を制御可能な音声制御手段と、を備え、

前記記憶手段に、表示制御に関するデータと、演出音の出力制御に関するデータとが、

一連のデータとして記憶され、

前記表示制御手段による制御と前記音声制御手段による制御とを同期して実行可能であり、

前記補助演出手段は、

前記表示手段の表示に関する表示補助演出と、可動物の動作に関する動作補助演出と、を実行可能であり、

前記記憶手段に関する所定事象が発生した場合に、前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり、

前記停止期間においても前記動作補助演出を実行可能であり、

前記可動物は、原点位置と該原点位置から離れた位置との間で動作可能であり、

前記原点位置に前記可動物を位置させる第1動作制御と、前記可動物が正常に動作可能であることを確認する第2動作制御と、前記可動物による演出を行う第3動作制御と、を行いうことが可能な制御手段をさらに備え、

前記第2動作制御では、第1速度と該第1速度よりも速い第2速度との範囲内で前記可動物を動作させ、

前記第1動作制御では、前記第1速度以下の速度で前記可動物を動作させる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0006】

(A) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段（例えば演出データメモリ123など）と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段（例えばCPU131、VDP135など）と、前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段（例えばスピーカ8L、8R、演出用点灯役物90、演出用可動部材32A、32Bなど）と、演出音の出力を制御可能な音声制御手段（例えば音声処理回路136など）と、を備え、前記記憶手段に、表示制御に関するデータと、演出音の出力制御に関するデータとが、一連のデータ（例えば動画像データなど）として記憶され、前記表示制御手段による制御と前記音声制御手段による制御とを同期して実行可能であり（例えば図14を参照）、前記補助演出手段は、前記表示手段の表示に関する表示補助演出（例えば動画像再生によるリーチ演出など）と、可動物の動作に関する動作補助演出（例えばリーチ後演出AR1など）と、を実行可能であり、前記記憶手段に関する所定事象が発生した場合に、前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり（例えば図23における動画像再生開始、動画像再生終了を参照）、前記停止期間においても前記動作補助演出を実行可能（例えば図23における動画再生開始より前にリーチ後演出AR1を実行可能）であり、前記可動物は、原点位置と該原点位置から離れた位置との間で動作可能であり、前記原点位置に前記可動物を位置させる第1動作制御と、前記可動物が正常に動作可能であることを確認する第2動作制御と、前記可動物による演出を行う第3動作制御と、を行うことが可能な制御手段をさらに備え、前記第2動作制御では、第1速度と該第1速度よりも速い第2速度との範囲内で前記可動物を動作させ、前記第1動作制御では、前記第1速度以下の速度で前記可動物を動作させる。

このような構成によれば、適切な演出を実行できる。

(1) また、他の遊技機として、遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段（例えば演出データメモリ123など）と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段（例えばCPU131、VDP135など）と、前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段（例えばスピーカ8L、8R、演出用点灯役物90、演出用可動部材32A、32Bなど）とを備え、前記補助演出手段は、前記表示手段の表示に関する表示補助演出（例えば動画像再生によるリーチ演出など）と、可動物の動作に関する動作補助演出（例えばリーチ後演出AR1など）とを実行可能であり、所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり（例えば図23における動画像再生開始、動画像再生終了を参照）、前記停止期間においても前記動作補助演出を実行可能（例えば図23における動画再生開始より前にリーチ後演出AR1を実行可能）である、ことを特徴としてもよい。

このような構成によれば、適切な演出を実行できる。